

## 平成 25 年度共同募金による平成 26 年度助成事業

# 申請書記入のポイント

### ①まず団体内で申請内容についてよく話し合しましょう。

会長さんが一人で申請をして、他の役員さんが知らない状況では事業が進みませんのでみなさんで話し合いをお願いします。

### ②目的を明確にさせるようお願いします。

書類審査になります。事業の目的が分かることが大事です。

### ③「被災した地域社会の復興に向けた活動」及び「被災した子育て世帯を支援する活動」等と備え(備品購入等)中心の防災等事業、通常地域の活動を区別して申請するようお願いします。

様式1-3の申請事業名記入欄にその事業の内容を区分する欄が新設されました。該当する箇所に1か所チェックを入れてください。複数にチェックをいれるのは不可。その内容を様式1-4の中で表現してください。「被災した～活動」と備え中心の事業をはっきり分けていただきます。

### ④防災を主目的とした備え中心の事業の場合は、③とは異なりますので明確にするようお願いします。

申請様式1-3申請事業名の該当する箇所にチェックを入れてください。複数不可。

### ⑤③、④とも異なる通常地域の活動の場合は③④と混同しないように明確にするようお願いします。

申請様式1-3申請事業名の該当する箇所にチェックを入れてください。複数不可。

### ⑥事業年間スケジュールは必ず記入するようお願いします。

来年度の事業のことですから、今はっきりしていなくてもだいたいの予定を書いてください。事業がどのように行われるのかのイメージが伝わります。

### ⑦予算もできるだけ具体的に記入するようお願いします。

自己資金が経費の総額の1割以上になるよう積算してください。支出の内訳は見積りなどを取ってなるべく実際の事業に近くなるように。

### ⑧添付書類も忘れずをお願いします。

特に見積書は業者名で発行されたものをつけてください。

### ⑨規程のテント購入を希望する場合は見積書は不要です。

規定のテントであれば、宮城県共同募金会でまとめて購入しますので見積りはいりません。(別紙の資料を参照)

### ⑩事業終了後に報告書を出してもらいます。

支払の領収書等は失くさないようにしてください。

× 助成対象にならない経費
・ グループ、団体の会員が講師となる場合の謝礼
・ 新規立ち上げ活動の場合、通常のグループ、団体の活動に関する経費
・ 事業(活動)に関する人件費
・ スタッフの打ち合わせ会、反省会等の昼食代、飲食代
・ ボランティアの飲食代、当日以外の昼食代
・ イベント等の豪華な景品や高価な参加賞、(金券や商品券など)

【様式1-1】《住みよい地域づくり支援事業》

事務局欄	—
------	---

《子育て相談等支援事業》 記入例

25年 11月 1日

社会福祉法人宮城県共同募金会 会長 殿  
 (モデル配分事業委託者)  
 仙台市共同募金委員会 会長 殿 (申請書提出先)  
 (モデル配分事業受託者)

(フリガナ) 団体の名称	アカイハネチヨウナイカイ <b>赤い羽根町内会</b>
(フリガナ) 代表者職名と氏名	会長 センダイ タロウ <b>仙台 太郎</b> 印
所在地	(〒980-0022) TEL 022-223-2026 <b>仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 6F</b>



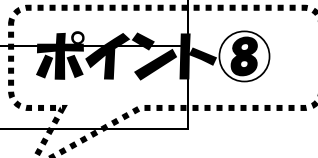
平成25年度共同募金 (平成26年度事業)

助成金 (配分金) の申請について

このことについて、仙台市共同募金委員会の住みよい地域づくり支援事業及び子育て支援事業配分要綱第5条により、下記のとおり申請を行いますのでよろしくお願いいたします。

記

助成金事業名	<b>被災により新しく住民になられた方々との 交流サロン事業</b> ※事業内容が一定程度イメージできる名称にしてください。 ※25字程度におさめてください。	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 住みよい地域づくり支援事業 <input type="checkbox"/> 子育て支援事業 { <input type="checkbox"/> 子育て相談等支援事業 <input type="checkbox"/> 認可外保育所整備事業 ※該当する事業の□にレ点を入れてください。	
事業費総額	<b>278,000</b> 円	
資金内訳	助成金の額	<b>250,000</b> 円
	自己資金	<b>28,000</b> 円



《添付提出書類》 ※□にチェックを入れてください

- |  |  |
|--|--|
| 1. 団体定款・規約・会則等 <input checked="" type="checkbox"/> | 6. 役員名簿 (スタッフ名簿) <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2. 平成24年度事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> | 7. 見積書 (備品購入及び修繕等の場合) <input type="checkbox"/>       |
| 3. 平成24年度決算書 <input checked="" type="checkbox"/>   | 8. 現状の写真 (備品買換え及び修繕等の場合)                             |
| 4. 平成25年度事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> | 9. その他書類( )  |
| 5. 平成25年度予算書 <input checked="" type="checkbox"/>   |  |

《過去共同募金助成実績》今までに受けた助成をお書きください。

平成 25 年度 189,000 円 (事業名) 子育てサロン

平成 \_\_\_\_\_ 年度 \_\_\_\_\_ 円 (事業名) \_\_\_\_\_

【様式1-2】

平成 25 年度共同募金(平成 26 年度事業)

住みよい地域づくり・子育て相談等 支援事業助成共通申請書

団体について	フリガナ 団体名	アカイ ハネ チョウナイカイ <b>赤い羽根町内会</b>		会員数 (町内会の場合 は世帯数)	<b>300</b> 人	
	フリガナ 代表者名	センダイ タロウ <b>仙台 太郎</b>		団体設立	<b>昭和 45</b> 年 <b>5</b> 月	
				法人格取得	年 月	
	団体所在地	〔 <input type="checkbox"/> 事務所 <input checked="" type="checkbox"/> 代表者自宅 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 〕 〒980-0022 <b>仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ 6 階</b>				
	電話	<b>022-223-2026</b>	F A X	<b>022-262-1948</b>		
	E-mail	<b>tiiki@shakyo-sendai.or.jp</b>				
ホームページ	<b>なし</b>					
連絡担当者について	フリガナ 連絡担当者名	アオバ ハナコ <b>青葉 花子</b>		役 職	<b>総務部長</b>	
	連絡担当者住所 (団体所在地と住所・電話・E-mail が同じ場合は「同上」とご記入ください) 〒980-0022 <b>仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 4 階</b>					
	電話	<b>022-223-2010</b>	FAX	<b>022-223-2010</b>		
	E-mail					
※すべての文書の希望送付先の□にレ印をつけてください。						
<input type="checkbox"/> 団体代表者 <input checked="" type="checkbox"/> 連絡担当者						
設立経緯〔簡潔にご記入願います〕 <b>昭和 44 年に宅地造成され、昭和 45 年に住民の自治会として設立した。</b>						
団体の目的〔簡潔にご記入願います〕 <b>地域住民の親睦を図り、良好な地域社会の維持・形成に努め、住みよい地域づくりを推進することを目的とする。</b>						
団体の事業概要・活動内容〔メニューを簡潔にご記入願います〕 <b>区域内の環境美化、集会施設等の資産の維持管理、福利・厚生、防火・防災・防犯・交通安全、文化・体育・レクリエーション、その他</b>						
会報誌の発行及びホームページ・メールマガジンなどの開設 (有・無いいずれかに○)	<input checked="" type="radio"/>	名称 ( <b>赤い羽根町内会だより</b> ) URL ( <b>なし</b> ) 発行回数 (年間 <b>6</b> 回)			無	
赤い羽根共同募金運動への参加状況	地区社協・町内会	<input checked="" type="checkbox"/> 戸別募金 <input type="checkbox"/> 一括募金 <input type="checkbox"/> 法人募金 <input type="checkbox"/> 街頭募金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	ボランティア・市民活動団体/NPO 他団体	<input type="checkbox"/> 職域募金 <input type="checkbox"/> 街頭募金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				



申請事業内容

申請事業内容	申請事業名 (活動名)	<b>被災により新しく住民になられた方々との交流サロン事業</b> 該当するものいずれかにレ印をつけてください <input checked="" type="checkbox"/> 「地域社会の復興に向けた事業」、「被災した子育て世帯を支援する事業」に該当する <input type="checkbox"/> 防災を主目的とした備え(備品購入等)中心の事業である。 <input type="checkbox"/> その他の事業		
	主な活動場所 (設置場所)	〒980-0022 仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市五橋集会所	連絡先	電話 223-2026 FAX262-1948
	事業開始又は 実施年月日	平成 26 年 4 月 1 日	完了年月日	平成 27 年 3 月 31 日
	対象者〔該当するものにレ印をつけてください。複数回答可〕 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障がい者 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> 子育て家庭 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (赤い羽根町内会区域にお住まいの方) ※条件がある場合はご記入願います。〔例「65歳以上の高齢者」「未就学児童」など〕 [ ]			
	対象人数 (町内会の場 合は世帯数)	300 世帯	スタッフ数	30 人
	対象地域	赤い羽根町内会区域		
	活動日・時間	サロン:およそ年に4回(11:00~14:00) 準備会議:1ヶ月に2回くらい (13:30~15:30又は19:00~21:00)		
	この事業の期 間	〔該当するものにレ印をつけてください。〕 <input type="checkbox"/> 単年度で終わる事業 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年に渡る事業 (2 年間) (理由:自然な形で住民同士が馴染むまである程度の期間を要するため。)		
	この事業につ いての他の申 請中の助成金	名称: 助成申請額 円		
	共同募金の助 成事業を何で 知りましたか?	〔該当するものにレ印をつけてください。〕 <input type="checkbox"/> 各区社会福祉協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 地区募金会 <input type="checkbox"/> 地区社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 各区役所 <input type="checkbox"/> 市民センター・公共施設 <input type="checkbox"/> 仙台市社会福祉協議会ホームページ <input type="checkbox"/> その他 ( )		
自己資金に ついて	H23 年度決算時の繰越金額 <u>200,000</u> 円 ●自己資金で申請事業の経費全てを賄えない理由 〔 会費徴収を4月末予定しているが、運営経費として最低限必要の繰越金を確保するため、この事業には使えない。 〕			

※申請事業名(活動名)は、様式1-1の申請事業名と同一にしてください

◆「地域の復興に向けての活動」または、「被災した子育て世帯のための活動」の場合、復興させた  
い事柄または、支援したい子育て世帯の状況について詳しくご記入ください

**赤い羽根町内会のある五橋2丁目は、地区社協からの情報提供によるとアパート等の借上げ  
民間賃貸住宅が多い地域である。東日本大震災の津波被害や地震被害、原子力災害など様々  
な理由で自宅を離れ、慣れない土地で暮らすことは苦労も多く様々なストレスがあるだろうと思わ  
れる。仮設住宅に限らず家族の呼び寄せや新規購入等で転居された存在することも分かってき  
た。町内会として孤立しがちなこれら住民にアプローチが必要と考える。**

◆必要性・地域貢献性について



①地域の課題などから助成申請に至った経緯（なぜ今必要なのか）  
②この事業（活動）の目的・内容  
③期待される効果（どのように地域に役立つのか） についてご記入ください。

①上記の状況に加えて、高齢者や小さなお子さんを抱えた一人親世帯の住民など見守り等の支  
援が必要な世帯が存在することも想像されるため、町内会としてサロンを立ち上げることを計画し  
た。

②サロンに集まり季節行事を楽しむことで、身近に知っている人がいる、立ち話できる人がいる、  
相談できる人がいると、という状況を作り住民同士のつながりを広げていく。交流を切らさずに顔  
なじみの関係を作ることで地域の支えあいの関係を築くことを目的とする。自宅と会場間の送迎  
をおこなうことで、閉じこもりがちな足腰の弱い高齢者にもサロンへの参加を容易にします。

③新たに住まわれた住民の孤独感を解消し、今の生活に適応しようとする元気が出る効果が期  
待できる。全体の住民同士の輪を広げ個人的に困った状況や災害が起こった際にも支え合える  
町内会を作っていく。

◆発展性について

どのような活動にしていきたいのか、申請事業の2～3年後の展望についてご記入ください。

**初年度…まずはサロンという場を定着させる。地区社協や民生委員、体育振興会の協力を得て  
人材、アイデアを提供してもらおう。**

**2年目以降…地域の男性ボランティアグループオヤジの会や中学校、子ども会にも呼びかけて  
協力してもらい、一般住民からもスタッフになってもらいサロンを継続できる体制を作る。**

◆事業の必要性や成果の公表方法をご記入ください

①誰に伝えますか（該当する全てのものに☑をつけてください）

一般市民 地域住民 会員 利用者 寄付者 関係者 その他（ ）

②どのように伝えますか（該当する全てのものに☑をつけてください）

会報・機関紙 情報紙 新聞 テレビ ホームページ 看板  
チラシ・パンフレット 役員会や総会に報告 受配シールを貼る イベントで周知  
事業に参加し理解してもらおう 共同募金運動への協力を通して理解を求める  
その他（民間賃貸仮設住宅住民には区社協・地区社協の協力でDMを出してもらおう。）  
予定なし

【様式1-5】

**ポイント⑥**

(申請する事業の年間スケジュールを記入してください。)

平成 26 年 度 年 間 ス ケ ジ ュ ー ル	月	活動予 定回数	活動内容(予定) ※箇条書きで記入ください
	25年 4月	2回	・準備会
	5月	1回	・お花見会開催(第1回)
		1回	・準備会
	6月	1回	・準備会
	7月	1回	・準備会
	8月	1回	・準備会
	9月	2回	・準備会
		1回	・いも煮会(第2回)
	10月	1回	・準備会
	11月	2回	・準備会
	12月	1回	・準備会
		1回	・クリスマス会(第3回)
26年 1月	2回	・準備会	
2月	2回	・準備会	
3月	1回	・ひなまつり(第4回)	
	2回	・準備会	



## 助成申請事業 収支予算書

単位：円

科 目		予 算 額	説 明 (品名・内訳・算出根拠)
収 入	共同募金助成金	250,000	※申請事業経費 (B) の 90% 上限 (千円未満切捨て) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(B) × 0.9</span>
	自己資金	28,000	内訳 参加費@500×4回×14人
	合 計 (A)	278,000	
支 出	事務消耗品費	9,000	コピー用紙、インク代
	通信費	0	
	広報費	58,000	チラシ印刷代 38,000 円、 のぼり旗 20,000 円
	会場費・施設借上費	58,000	準備会@2,100×18回=37,800 サロン@5,000×4回=20,000
	講師謝礼費	10,000	楽器演奏謝礼@5,000円×2人
	活動保険料	9,000	ボランティア保険@300×30人
	会議費	62,000	会議用お茶、サロン用飲食費(お茶、お菓子、 食材等)
	交通費・旅費	5,000	自宅会場間送迎車両ガソリン代
	備品費、資材費、設備費	67,000	食器洗い洗剤、スポンジ、ふきんなど 7,000 円 音響外注@20,000円×2回=40,000 レクリエーション用品(ベタンク)20,000
	その他 ( )		<b>単価 1万円超なの で見積書を添付</b>
合 計 (B)	278,000	(A) = (B)	

※事務消耗品について、単価 1万円以上のものは、備品になりますので、科目「備品費、資材費、設備費」の予算額に入れてください。

※収入合計と支出合計は同額になります。説明部分は、内訳・算出根拠も必ず詳しくご記入ください。